

# 第27期 支部長執行員・副支部長研修会

時代変化に即応できる労働運動を基調とする

## 「国際労働組合支部執行トップリーダーのロール (role)」



2017年12月20日(水)～21日(木)1泊2日で、千葉県木更津市「かずさアカデミアパーク」において、長年に亘り講師としてお世話になっている、日本労働教育研究所代表 勝又浩正先生をお迎えして、本部役員11名、支部長執行員11名、分会長1名、副支部長16名の出席で、第27期支部長執行員・副支部長研修会を開催しました。

組織部長による開講宣言の後、北里中央執行委員長より「組織における『教育』の重要性を、支部のリーダーである皆さんは十分理解されているとは思いますが。このような素晴らしい環境で指導を受けられる事は当たり前ではないことを自覚し、それぞれが何かを掴み取って、明日以降の組合活動に活かしていただきたい。本当に価値のある2日間となるよう、頑張ってください。」と挨拶がありました。その後、勝又先生より「世の中が大きく変わっていくことを自覚し、予測する力、先を見据える目を磨き、リーダーシップを持って行動していただきたい。今回は自由に発想していただくテーマ設定となっていますので、皆さんがどのように話を展開していくか楽しみにしています。頑張ってください。」と挨拶がありました。



勝又浩正先生



北里中央執行委員長

オリエンテーションに続き、今回のテーマでもある「組合規約・支部規定の背景にある支部長執行員の権限・責任の発祥源を探る」という支部長執行員・副支部長共通の課題が発表され、支部長執行員の組織上の地位・職務・役割はどういうものなのか、本部や副支部長との関係はどういうものなのか、それらを裏付ける法律や規約・規定はどういうものがあるかを、1時間余りという短い時間でまとめ上げ、グループ別に発表を行いました。

研修2日目は勝又先生の講演が行われ、今回のテーマでもある「職場委員に対する支部長執行員のロール (role) その一言から始めよう」について、支部業務を統括し、組織を維持していくためには何をすべきか、職場委員をまとめ、身近な頼れる役職者としてのリーダーシップを発揮するにはどうあるべきか、組織を動かす上での言葉の重要性などについて、具体例を交えながらわかりやすく講義していただきました。

最後に田北中央副執行委員長より「正確に伝えることの重要性や言葉の選択の難しさについて、また、労働組合のトップリーダーに求められるものは何かという事について、改めて学んでいただきました。この2日間の研修をもう一度見直した上で、実行していただきたい。」と総括があり、2日間の研修は終了しました。

参加された支部長執行員・分会長・副支部長は、改めて規約・規定を読み解くことで更に認識を深め、言葉の選択と正確に伝えることの重要性を再認識し、支部運営に当たられることを期待します。2日間大変お疲れさまでした。

